



使用上の注意事項

1. 定格、形状等用途に合った製品をご使用下さい。
 - スパークキラーの定格電圧(ACの場合50/60Hz)は、使用ラインの電圧を示していますので、定格電圧内でご使用下さい。ノイズ電圧は別途規定しています。
 - 商用電源ラインに使用されるスパークキラーは高い安全性が必要です。火災事故のおそれがありますので、専用の製品を使用して下さい。
2. 使用時に条件が適切か否かの判断は、使用した製品の温度上昇である程度見定められます。過大なノイズ(サージ)が連続して印加されますとスパークキラーは発熱しますが、この際製品の外装ケースの表面温度の上昇を5度以下に抑えて下さい。(5度以上になる場合は、必ず当社へお問い合わせ下さい。)
3. 強電の分野においては、高周波伝導ノイズが構内設備間で干渉する場合があります。製品の発熱の要因となります。特に三相400Vラインで数十kWのブラシモーターの負荷を有するラインでは発熱を特に注意のうえご使用下さい。
4. 製品の使用温度範囲は個々に定めていますが、抵抗器やパワー半導体付近等局部的に熱輻射を受ける場合は、最高使用温度を超えないよう充分にご注意下さい。
5. スパークキラーに内蔵される抵抗器は、電源ラインが50/60Hz以外の120もしくは400Hzの場合に、キャパシタのインピーダンス電流による発熱を生じる事があります。このような自然発熱を防ぐため、商用周波数以上でご使用の場合は当社へご相談下さい。
6. インバータ電源の二次側には使用しないで下さい。電源波形が歪んでいたたり、周波数が商用周波数と異なる回路に使用する場合は当社へご相談下さい。なお位相制御回路やハイレベルのノイズ回路に使用する場合、コンデンサの電極間で微少な機械的振動を生じ「鳴き音」が聞こえることがありますが、これは電気的特性・信頼性には影響ありません。
7. 使用する回路の基本波形が正弦波や直流以外の三角波、方形波の場合は製品に発熱を生じる場合がありますので当社へご相談下さい。
8. 製品をハンダ付けで取付ける際は、規定条件内で行って下さい。プレヒートの時間は110°C1分までです。再ハンダを要する場合は必ず室温まで冷却後に行ってください。
9. 製品をネジ止めする場合は、平面上に固定し、締め付けトルク10kg・f・cm以下でお願いします。
10. リード部が絶縁被覆電線タイプの製品は、リード線を引っ張った状態での折り曲げ、伸ばしの繰返しを行わないで下さい。リード根元部分の被覆を損傷したりゆるみを生じることがあります。
11. リード部が裸単線タイプの製品は、一般の洗浄用溶剤(イソプロピルアルコール等)での劣化はありません。被覆電線タイプは被覆が劣化することがありますので、アルコール系洗浄剤を使用して下さい。
12. 通電中、スパークキラーの端子に触れると感電します。また電源のスイッチを切った後でもスパークキラーには電気が蓄えられており、触れると感電する場合があります。スパークキラーの端子に触れる時は、放電用抵抗をスパークキラーの端子に当て、十分に放電した後、触れるようにして下さい。